

北極環境研究推進に関する最近の動向 Recent advance in discussions on the Arctic Environmental Studies

榎本 浩之^{1*}; 大畑 哲夫²
ENOMOTO, Hiroyuki^{1*}; OHATA, Tetsuo²

¹ 国立極地研究所, ² 海洋研究開発機構
¹National Institute of Polar research, ²JAMSTEC

北極研究について国内外で様々な取り組みが行われている。GREENE北極気候変動プロジェクトは5年計画の4年目に入り、研究成果のとりまとめが望まれている。また国内ではJCARによる長期構想検討が進められている。また、国際的には4月にASSWが開かれ、来年は儲億研究提案にもかかわるICARP-IIIとあわせてASSWが日本で開かれる予定である。また、近年、北極に関する国際検討会も新しいものが生まれ、頻繁に開かれるようになっている。また、米国、カナダ、ノルウェー、ドイツ、ロシアなどとの2国間の協力推進についても多くの話し合いがもたれている。一方、北極圏にとどまらずグローバル気候研究の一端としてGCWやChC、Future Earthなど、WCRPを継承する活動も進められている。

本発表では、急速に変化する北極の環境に対応して、急速に拡大・加速している研究コミュニティの動きについて紹介する。

キーワード: 北極, 環境研究, 研究動向

Keywords: Arctic, Environmental study, planning